

第3期 伊勢市スポーツ推進計画



伊勢市教育委員会

目次

第1章

| | |
|---------|----|
| 計画の基本理念 | P1 |
|---------|----|

第2章

| | |
|------------|----|
| 計画の位置づけと期間 | P2 |
|------------|----|

第3章

| | |
|--------|----|
| 目標とする姿 | P4 |
|--------|----|

第4章

| | |
|-------------------|----|
| 現状と課題 | P6 |
| 第2期計画における数値目標達成状況 | P8 |
| 第3期計画における数値目標 | P9 |

第5章

| | |
|------------------|-----|
| 基本方針・主な取組 | |
| 1 スポーツ活動の充実 | P10 |
| 2 スポーツ関係団体の連携・強化 | P12 |
| 3 スポーツ施設の利便性の向上 | P14 |

資料編

| | |
|--|--|
| 市が主催するスポーツ大会等への参加人数・総合型地域スポーツクラブの会員数 | |
| 伊勢市スポーツ協会加盟団体の総会員数と加入割合・伊勢市スポーツ指導者バンクの登録者数 | |
| 伊勢市スポーツ少年団登録団員数と加入割合・スポーツ施設の稼働率 | |
| 週1回以上スポーツ実施率・週1回以上スポーツ実施率推移 | |
| 伊勢市総合型地域スポーツクラブ | |
| クラブ紹介・年齢別会員割合 | |
| 令和元年度体力・運動能力調査 | |
| 市営スポーツ施設一覧 | |
| 第3期伊勢市スポーツ推進計画策定経過 | |
| 令和3年度伊勢市スポーツ推進審議会委員名簿 | |

第1章

計画の基本理念

本市は、国が策定するスポーツ基本計画を基に、第2期伊勢市スポーツ推進計画において「ライフステージに合わせスポーツを楽しめるまちへ」を目標に掲げ、スポーツ振興を進めてきました。

スポーツ基本計画では、スポーツの果たす役割の重要性を踏まえ、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出を目指していくことが必要であるとされています。

本市においても、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージに合わせて、年齢や障がいに関わらず、自分のスタイルでスポーツを楽しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができる社会を目指し取組を進めてきました。

第3期伊勢市スポーツ推進計画においてもスポーツをより身近なものとして気軽に親しんでもらえるよう、これまでの『スポーツを「して」楽しむ、「みて」楽しむ、「支えて」楽しむ』を継続し、市民の誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しみ、健康で心豊かな生活が送れるまちを目指します。幼少期から青年期においては、スポーツを通して子どもたちの心身の健全育成を図り、また地域社会においては、スポーツ活動が世代を超えた交流の場となることで、コミュニティの活性化につなげていきます。スポーツ活動は身体の健康だけでなく、心の健康づくりにも欠かせないものです。

このことからスポーツの推進を健康維持、体力増進だけでなく、仲間とのコミュニケーション、また地域社会活性化にもつなげていくため、次の基本方針を定め、取組を進めていきます。

- 1 スポーツ活動の充実
- 2 スポーツ関係団体の連携・強化
- 3 スポーツ施設の利便性の向上



第2章

計画の位置づけと期間

| 計画名 | 2017 H29 | 2018 H30 | 2019 R1 | 2020 R2 | 2021 R3 | 2022 R4 | 2023 R5 | 2024 R6 | 2025 R7 | 2026 R8 | 2027 R9 | 2028 R10 | 2029 R11 |
|--------------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 第3次 伊勢市総合計画 (基本構想) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 前期基本計画 | | | | 中期基本計画 | | | | | 後期基本計画 | | |
| 伊勢市教育大綱 | | | | | | | | | | | | | |
| 伊勢市教育振興 基本計画 | | 第2期 | | | | 第3期 | | | | | | | |
| 伊勢市スポーツ 推進計画 | | 第2期 | | | | 第3期 | | | | | | | |

伊勢市総合計画

伊勢市が行う政策や事業の根拠となる最上位計画となるもので、市政運営の基本的方向を示すものです。

伊勢市教育大綱・伊勢市教育振興基本計画

伊勢市の教育の目指すべき姿とその実現に向けた施策の方向性を示すもので、学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で教育の向上に取り組むための指針となるものです。

伊勢市スポーツ推進計画

上記計画に掲げている政策・目標を実現させるため、目標を数値化し、「第2期伊勢市スポーツ推進計画」として2017年度（平成29年度）から2021年度（令和3年度）までの5年間で取り組んできました。第2期計画の結果を活かし、更なるスポーツ振興の充実に向け、「第3期伊勢市スポーツ推進計画」（2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）まで）を進めています。

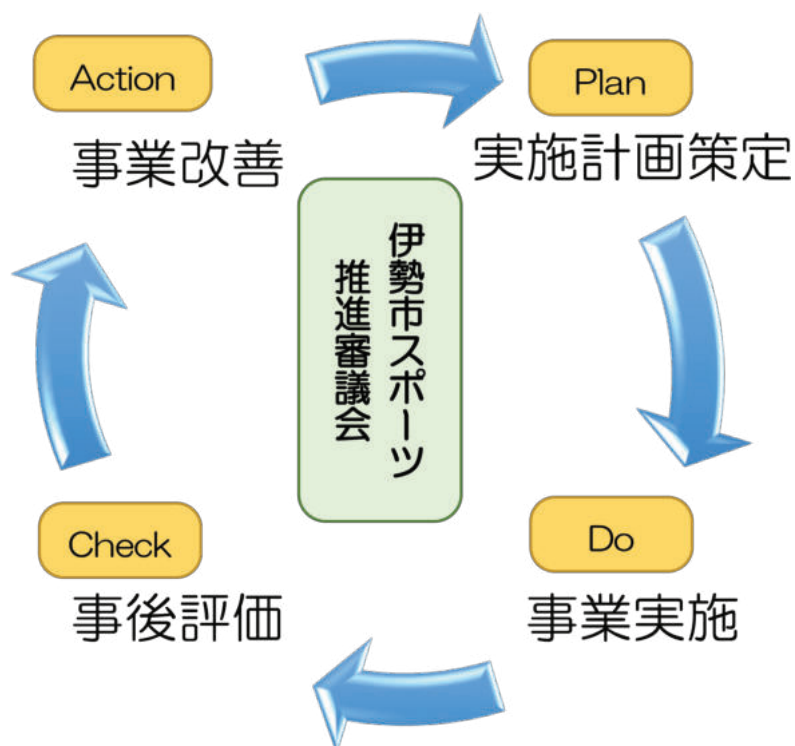
第3期伊勢市スポーツ推進計画のPDCA サイクル

第3次伊勢市総合計画

伊勢市教育大綱
第3期伊勢市教育振興基本計画



第3期伊勢市スポーツ推進計画



🔗 PDCA サイクルとは

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つです。

Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善します。

第3章

目標とする姿

ライフステージに合わせて スポーツを楽しめるまち

～子どもから高齢者まで、だれもが自分自身のスタイルで
スポーツを楽しめるまちを目指します。～

私たちは、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会実現のため、生活の中に自然にスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」※（生活の中にスポーツを）という姿を目指し、スポーツに親しむきっかけづくりを進めていきます。

「人生100年時代」を笑顔で過ごすためには、継続的に運動を行い、心身共に健康でなければなりません。スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求を満たすだけでなく、地域や人との交流を深めたり、青少年の健全育成など、私たちの生活をより豊かなものにしてくれます。目標の実現に向けて、私たちは誰もが自分自身の生活の中で、それぞれの関心や、適性に応じてスポーツに参画することができる環境を整備します。



また、競技力向上については、競技スポーツを支える仕組みをつくり、各種大会で活躍する選手の育成、サポートに取り組み、安定した競技力が維持できるよう支援を行い、市全体で応援していきます。

☞※ スポーツ・イン・ライフとは



Sport in Life

スポーツを行うことが生活の一部となる。そのような姿を目指し、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会を実現していく。そして健康で活力ある社会へ。というスポーツ庁の目指す「2020 東京大会」のレガシーです。



第4章

現状と課題

スポーツを「する」ことで、スポーツの楽しさや喜びを知り、「みる」、「ささえる」ことによってそれを共有し、人とのつながりが生まれます。このようなスポーツとの多様な付き合いが、生活の一部となることを目標として、これまで計画を進めてきました。日常生活において週1回以上スポーツを行うことを目標に取り組んできたところ、本市におけるその割合は、2019年度（令和元年度）において44.6%となり、目標である「2021年度（令和3年度）に43.0%」を達成することができました。

しかしながら、令和2年度は39.8%にとどまったほか、国の計画においては2021年度（令和3年度）に65%、三重県においては2022年度（令和4年度）に65%の目標を定めており、市として、国、県の目標はまだ達成できていない状況となっています。そこで、私たちはすでにスポーツに取り組んでいる方には、これからもスポーツを続けていける環境を、またこれから始めようという方には、そのきっかけを提供していく必要があります。

～スポーツでつなぐコミュニティ～

人口減少、少子高齢化が進む中、スポーツ団体への加入者数も減りつつあります。30～40歳代のビジネスパーソン世代は、市の調査においてもスポーツ実施率が低迷し、また性別では男性と比較して女性が低い傾向にあります。

また、地域によっては、独居老人が増え高齢者の健康づくりも気になるところです。高齢者にとって大切なことは、身体を動かすことによる体の健康と、人と接し会話をすることによって笑顔になり、そして笑うことによる心の健康です。このことから幅広い世代の方がスポーツに親しんでもらえる機会を提供していく必要があります。

地域スポーツの核となる総合型地域スポーツクラブにおいては、高齢者を対象とした健康体操や、若い世代に人気のスポーツクライミングなどアーバンスポーツを実施することにより、世代を超えたコミュニティを築いていくことができるなど、その魅力を多くの方に知っていただき、地域のスポーツ振興につなげていくことが求められています。

～障がい者スポーツの推進～

パラリンピックの開催により、障がい者スポーツが注目されるようになりました。障がいの有無や年齢、性別にとらわれることなく、全ての人がスポーツを楽しむことができる環境を提供していく必要があります。

～安心安全なスポーツ振興～

新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまなスポーツイベントや、日常のスポーツ活動、学校での活動が中止、自粛となりました。これを機に新しいスポーツ活動として、感染症対策はもとよりオンラインによる競技や動画配信など新しいスポーツの形も考えていく必要があります。

～施設の充実～

公共施設の老朽化が進む中、スポーツ施設においても利用者に安全に利用していただくため維持管理費用、更新費用が増加しています。市の公共施設マネジメントに基づき、継続、廃止、機能複合を進めていく必要があります。



ボッチャ交流大会の様子



親子ティーボール教室の様子

第2期計画における数値目標達成状況

| 基本 目標 | 目標設定項目 | 現状値 (H28年度) | 目標値 (R3年度) | 実績 (R3年度) |
|---------------|--|-------------------|-------------------|--------------------|
| スポーツ活動の充実 | 市が主催するスポーツ大会等への参加人数 | 5,052人 | 10,000人 | 1,393人 (R2年度実績) |
| | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 3,680人 | 3,500人 | 3,211人 |
| スポーツ団体の強化・連携 | 市の人口に対するスポーツ協会加盟団体の総会員数とその加入割合 | 7.9% (10,165人) | 8.5% (10,200人) | 7.4% (9,198人) |
| | 伊勢市スポーツ指導者バンクの登録者数 | 20人 | 50人 | 27人 (R2年度実績) |
| | 市内の全小学校の児童数に対するスポーツ少年団に加入している子どもの数とその加入割合 | 17.2% (1,137人) | 20.0% (1,170人) | 16.9% (1,016人) |
| スポーツ施設の利便性の向上 | 伊勢市内にある公共スポーツ施設を利用したことがある大人の割合 | 80.5% | 85.0% | 79.4% |
| | スポーツ施設の稼働率 【対象施設】 伊勢フットボールヴィレッジ人工芝グラウンド、タイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）、市営庭球場、小俣総合体育館、御園B&G海洋センター体育館、二見グラウンド | 73.1% | 80.0% | 76.9% (R2年度実績) |
| | 伊勢市内にある公共スポーツ施設に対する全体的な満足度（アンケート調査による「満足」「ある程度満足」の割合） ※1 | 28.5% | 30.0% | 75.8% |

※1 「現状値」及び「目標値」は、5段階評価（満足・ある程度満足・ふつう・やや不満足・不満足）でアンケートを実施しており、「実績」は（ふつう）を除く4段階評価としているため、高い数値となっています。

第3期計画における数値目標

| 基本 目標 | 目標設定項目 | 現状値 (R3年度) | 目標値 (R8年度) |
|---------------|---|--------------------|----------------|
| スポーツ活動の充実 | 週1回以上のスポーツ実施率 (ウォーキングも含む) ※対象者16歳以上 | 46.6% | 50.0% |
| | 市が主催するスポーツイベント等への参加数 | 1,393人 (R2年度実績) | 10,000人 |
| スポーツ団体の連携・強化 | 市の人口に対するスポーツ協会加盟団体の 総会員数とその加入割合 | 9,198人 7.4% | 9,600人 8.5% |
| | 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 3,211人 | 3,800人 |
| スポーツ施設の利便性の向上 | 市内にある公共スポーツ施設に対する全体的な満足度 | 75.8% | 85.8% |
| | 主要なスポーツ施設の稼働率 【対象施設】 伊勢フットボールヴィレッジ人工芝グラウンド、 ダイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）、 市宮庭球場、小俣総合体育館、 御園B&G海洋センター体育館、 二見グラウンド | 76.9% (R2年度実績) | 80.0% |

目標設定項目の「週1回以上のスポーツ実施率」は、国、県においても数値目標となっています。

第5章

基本方針・主な取組

1 スポーツ活動の充実

市民スポーツ活動については、スポーツに関わる各種協議会、協会、大学等、多様な団体とさまざまな形で連携し、各種事業を進めています。

また、総合型地域スポーツクラブは、身近なスポーツクラブとして各種教室やイベント等を行い、地域スポーツの拠点となっています。

このように、スポーツの楽しさを感じてもらえる教室やイベントを開催し、それぞれの生活にスポーツを取り入れてもらえるようスポーツ活動の充実を図ります。

また、障がい者スポーツについても、競技を通じた交流を図ることにより、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組めます。

| 数 値 目 標 | | |
|--------------------------|-----------------|------------------|
| 週 1 回以上のスポーツ 実施率 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和3年度 46.6% | 令和8年度 50.0% |
| 市が主催するスポーツ イベント等への参加数 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和2年度 1,393人 | 令和8年度 10,000人 |



主な取組

・総合型地域スポーツクラブ

クラブの育成・強化を図り、地域スポーツの活動拠点となるよう支援を行い、クラブ運営の体制強化を図ります。また、クラブ会員だけでなく、会員以外の方も体験として参加できるクラブ交流事業を開催し、クラブPRと会員確保、スポーツの機会創出につなげます。さらに、各クラブで行っている体操やウォーキングなど、気軽に参加しやすいものや自宅で簡単に行える運動をきっかけとしてスポーツの輪を広げていきます。

・伊勢市スポーツ推進委員

伊勢市スポーツ推進委員の資質向上のため、他団体主催の研修会等への参加を促します。また、地域スポーツの中心となるよう支援し活動を充実させます。

- **いせスポーツフェスティバル**

(ポッチャ交流大会・小学生スポーツチャレンジ等)

みえのスポーツ推進月間である9～10月に実施し、スポーツを通して交流を図ります。

- **ちびっこ超人選手権大会**

子どもたちに「走る・跳ぶ・投げる」の基本動作からスポーツの楽しさを伝えます。

- **ウォーキング** (市民ふれあいスポカルウォーク)

気軽に参加できるウォーキングイベントを開催します。

- **ダンス&体操フェスティバル**

生涯スポーツとして多くの方が日頃から取り組んでいる、ダンスや体操の発表の場を設けモチベーションアップにつなげていきます。

- **障がい者スポーツ**

各種団体や福祉部署と連携しながら、ポッチャやサウンドテーブルテニス等を実施することで、障がいの有無に関わらず、みんなが楽しく身体を動かせる機会を提供し、インクルーシブスポーツ※の促進に取り組んでいきます。また、地域やクラブでの活動支援として、各種用具の貸し出しを行います。

☞※インクルーシブスポーツとは

共生的な社会の実現に向けて障がいの有無や程度に関わらず、多様な人々が共に実施できるスポーツを指します。

- **各種大会**

中日三重お伊勢さんマラソン、社会人野球 JABA 伊勢・松阪大会、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会など大規模大会を実施することにより、地域の活性化につなげます。また、市民がスポーツに参加するだけでなく、見る機会を提供します。

- **国際交流**

国際交流事業については、サッカー競技における日韓スポーツ交流事業を実施しています。子どもたちにとって技術向上だけではなく、諸外国との交流を深め、コミュニケーション能力を養う貴重な場として引き続き実施していきます。

2 スポーツ関係団体の連携・強化

市のスポーツ行政を進めていく中で、スポーツ関係団体との連携は必要不可欠です。競技スポーツの振興については、全国大会等へ出場する選手や好成績を収めた選手に対して、激励金の支給や市全体で応援していく雰囲気醸成していきます。また、学校体育・地域スポーツ・生涯スポーツについては、さまざまな形で支援を行い、スポーツ振興につながるよう各種団体と連携を強化していきます。

| 数 値 目 標 | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| スポーツ協会加盟団体の総会員数とその割合 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和3年度 9,198人・7.4% | 令和8年度 9,600人・8.5% |
| 総合型地域スポーツクラブの会員数 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和3年度 3,211人 | 令和8年度 3,800人 |



主な取組

・総合型地域スポーツクラブ

各種支援内容を精査し、有効で活用しやすい支援策を検討します。
定期的に意見交換会やクラブ訪問を行い、クラブ間の交流を図ることで情報共有や、身近なところでスポーツに親しむ環境づくりに努めます。

・伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会

多様化するニーズに対応できるようスポーツ推進委員と連携を図り、地域スポーツ活動の充実を図ります。また、協議会主催のスポーツイベントを開催し、市民がスポーツを楽しむ機会を提供します。
三重県スポーツ推進委員協議会と情報共有を図り、スムーズな協議会運営を図ります。
南勢志摩スポーツ推進委員協議会については、近隣市町と連携し南勢地域の委員の資質向上に努めます。
そのほか、協議会の推薦により地域のスポーツ振興に長年寄与されている方に感謝状贈呈を行います。

・伊勢市スポーツ少年団

スポーツ少年団は、子どもたちがスポーツを通じて協調性や創造力を養い、そして団活動の中で社会のルールや思いやりの心を学ぶ場として大切な組織です。スポーツ少年団で開催するイベントや交流会を通じて、所属団の競技だけでなく、さまざまな競技を体験し、魅力ある団活動を支援していきます。

・伊勢市スポーツ協会

スポーツ活動における競技力向上に向け、伊勢市スポーツ協会と連携を図り、各種事業への支援や指導者育成の支援を行います。また、障がい者スポーツ推進においてもスポーツ協会や関係団体との連携を図ります。

・小学校体育部会及び中学校体育連盟

小中学生の各種大会については、小学校体育部会、中学校体育連盟を通じて各種支援を行います。また、中学校における部活動については、部活動指導員の制度化が規定される中で、外部の指導者と連携・協力しながら子どもたちのスポーツ活動の機会を確保しつつ、有資格者である指導者の確保や、学校との連携等を検討し、子どもたちの活動をサポートしていきます。

・大学等

地元大学と連携し、学生講師によるスポーツ教室を開催することで、子どもたちがスポーツを身近に感じ、楽しめる環境をつくります。また、市が開催するスポーツイベントにおいても、学生に関わってもらうことにより、共に学び合い、より良い関係を築いていきます。

・各種スポーツ関係団体

市内には、さまざまな競技分野で活動されているスポーツ団体があります。これらの団体とも、情報共有を図り、共に協力することで市のスポーツ振興につなげていきます。また、生涯スポーツ振興を図るため、レクリエーション協会と連携し、気軽に楽しめるスポーツ活動を支援していきます。



3 スポーツ施設の利便性の向上

スポーツ施設については、市営である伊勢フットボールヴィレッジをはじめ、三重県営サンアリーナなど、集大会等が実施できる大規模施設もあり充実しています。市営の各施設においては、今後も利用状況や市民ニーズの把握に努め、安全で快適に利用できるスポーツ施設として整備を行ってまいります。

| 数 値 目 標 | | |
|--------------------------|----------------|----------------|
| 市内にある公共スポーツ施設に対する全体的な満足度 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和3年度 75.8% | 令和8年度 85.8% |
| 主要なスポーツ施設の稼働率 | 現状値 | 目標値 |
| | 令和2年度 76.9% | 令和8年度 80.0% |



主な取組

- **施設の安全な利用**

スポーツを生活習慣の一部として取り入れてもらうため、誰もが気軽に利用できる施設を、伊勢市施設類型別計画に基づき、安全で快適に利用できるよう整備していきます。

学校体育施設開放事業においては、学校活動に支障がない範囲において、学校、利用団体と連携を取りながら、学校体育施設を有効に活用していきます。

- **施設の有効活用**

関係部署と連携し、集大会や合宿による利用等スポーツ施設を活用した地域活性化を図ります。また、施設予約の調整についてもスムーズな処理に努めます。

- **施設のあり方**

全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、公共施設等の更新や維持管理に要する経費の確保が課題となっています。スポーツ施設においても例外ではなく、施設整備には多額の経費が必要となっています。各施設の利用状況、また地域における施設の状況等を把握し、指定管理者制度の導入を含め、施設にあった運営方法を検討していきます。

• 施設の利便性

施設予約においては予約システムの充実を図り、施設利用時においてはキャッシュレス化を充実させ、利便性の向上に努めます。



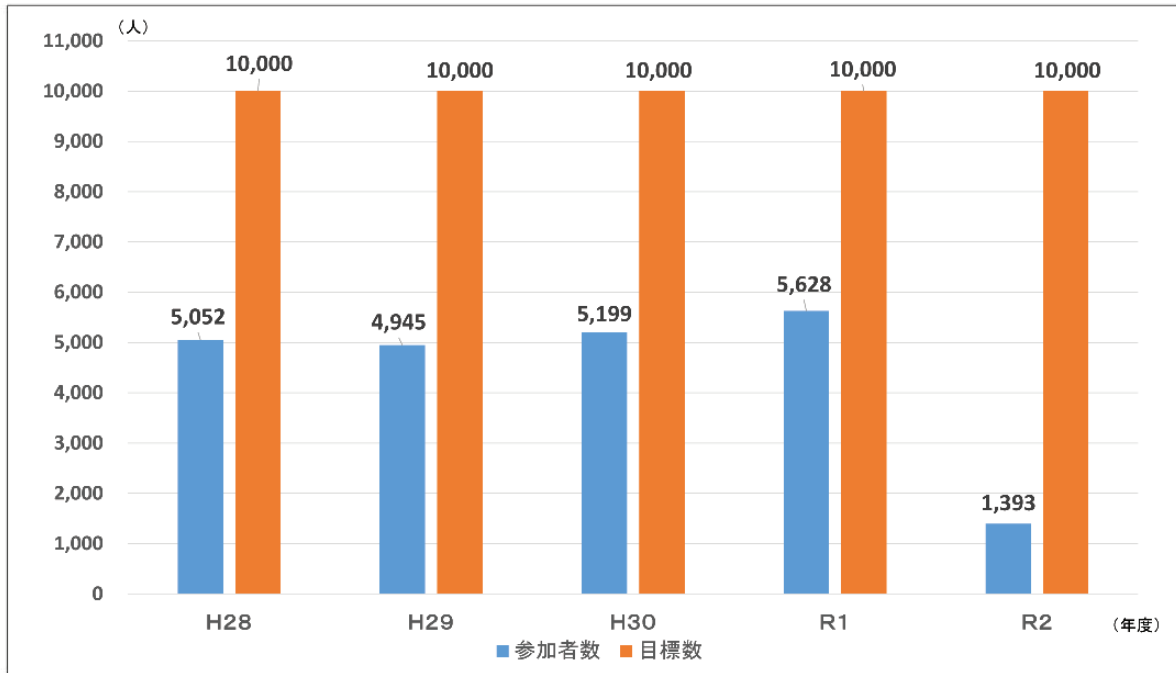
伊勢フットボールヴィレッジ



ダイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）

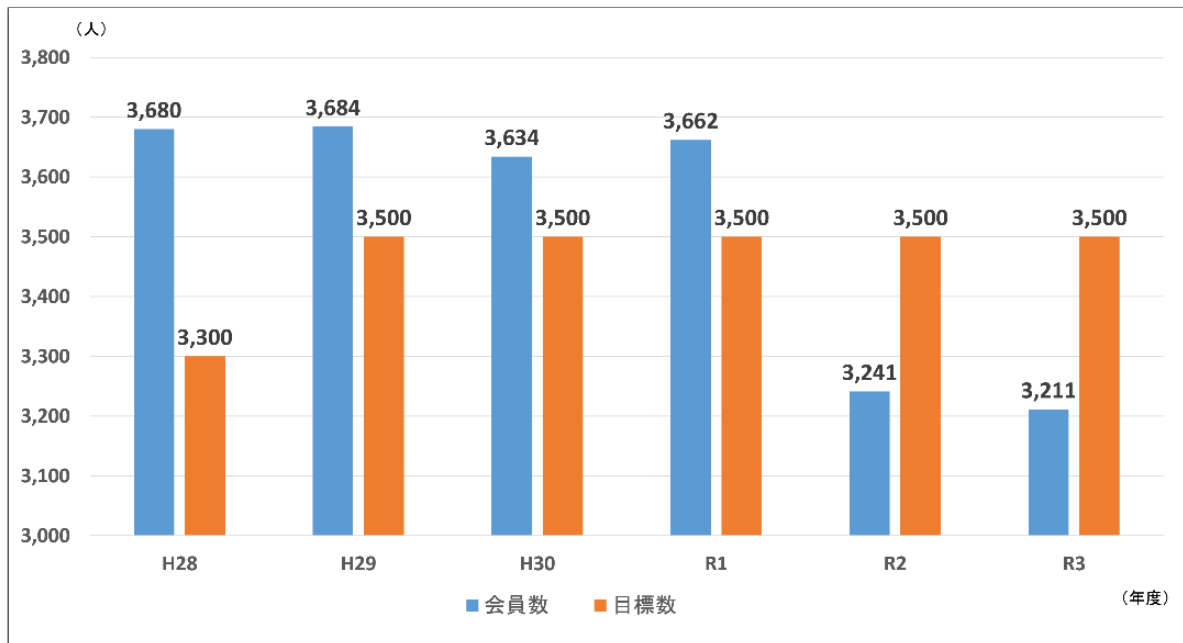
資料編

市が主催するスポーツ大会等への参加人数



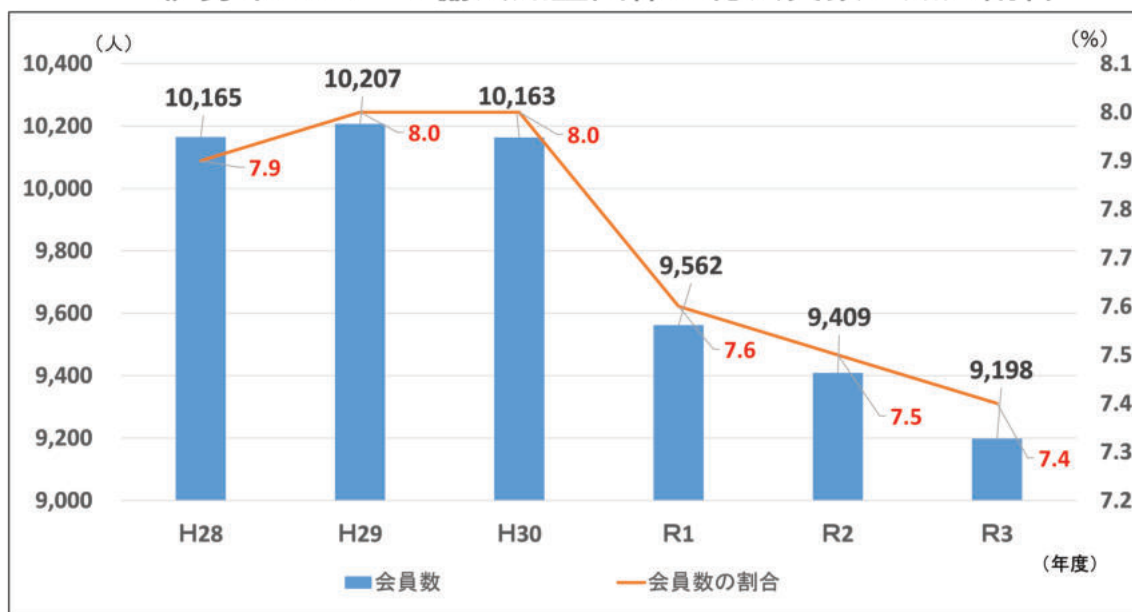
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止となった。スポーツに関心のある方はもちろん、あまり興味のない方、これから始めようと思っている方が親しみを持ち、楽しんでもらえるようなスポーツイベント等を各種団体と連携を図りながら開催していく。

総合型地域スポーツクラブの会員数



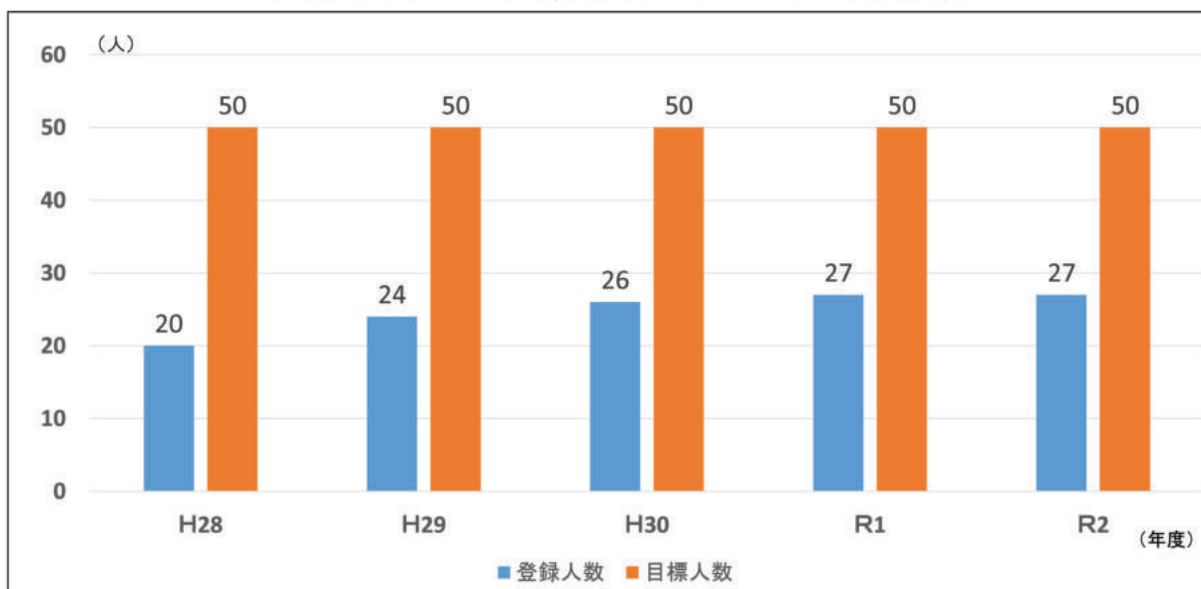
「週1回はスポーツをしよう」を合言葉に、子どもから高齢者まで世代を超えてさまざまなスポーツを楽しむ環境を作っている。スポーツ教室だけでなく文化教室等も取り入れるなど、世代間交流が図れる総合型地域スポーツクラブならではの活動が会員確保につながっていると考えられる。

伊勢市スポーツ協会加盟団体の総会員数と加入割合



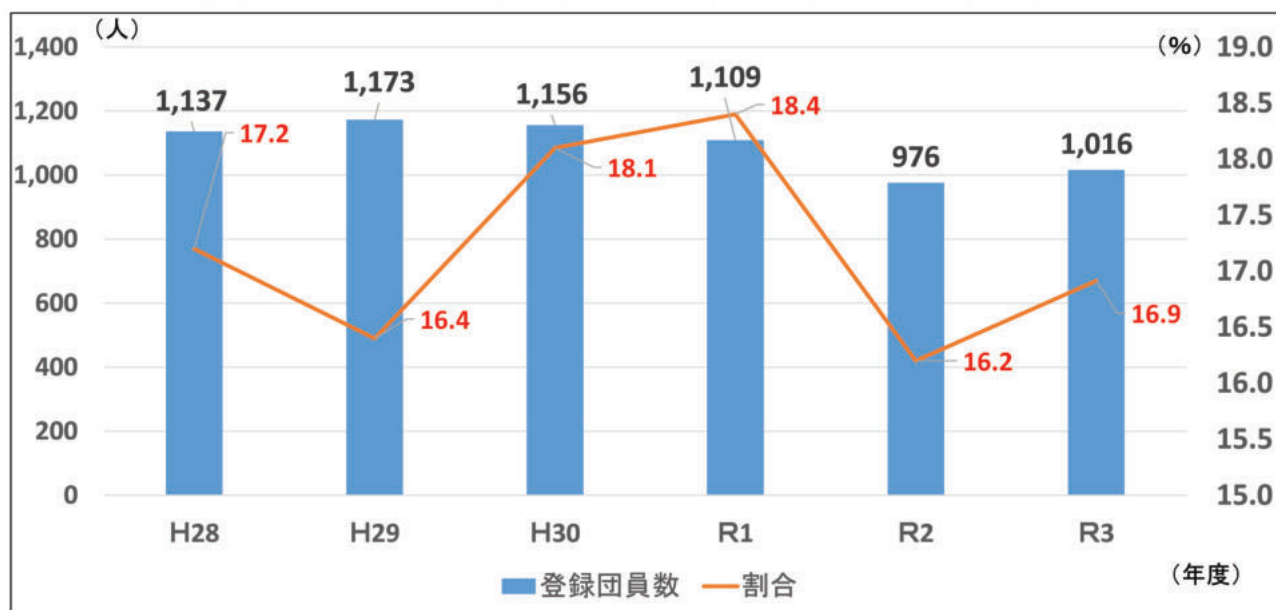
伊勢市スポーツ協会は、令和2年度に伊勢市体育協会から名称変更して、競技団体の統括、競技力向上、スポーツの普及振興を目的として活動している。

伊勢市スポーツ指導者バンクの登録者数



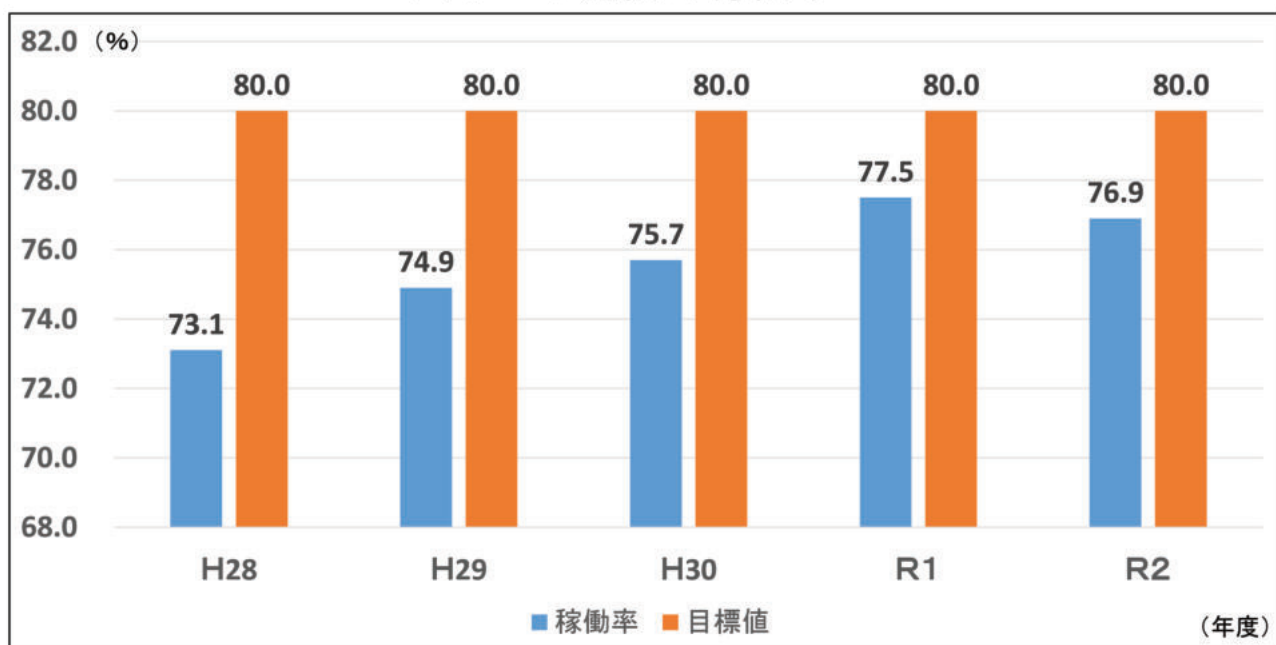
伊勢市スポーツ指導者バンクは、指導者を探しているスポーツ団体と知識、技術を活かしたいと考えている指導者をつなげるため、平成28年度に設置した。

伊勢市スポーツ少年団登録団員数と加入割合



令和2年度のスポーツ少年団における登録団員数については、新型コロナウイルス感染防止のため活動休止の期間があり、体験教室や通常の募集ができなかったため減員となったが、令和3年度は回復傾向にある。

スポーツ施設の稼働率

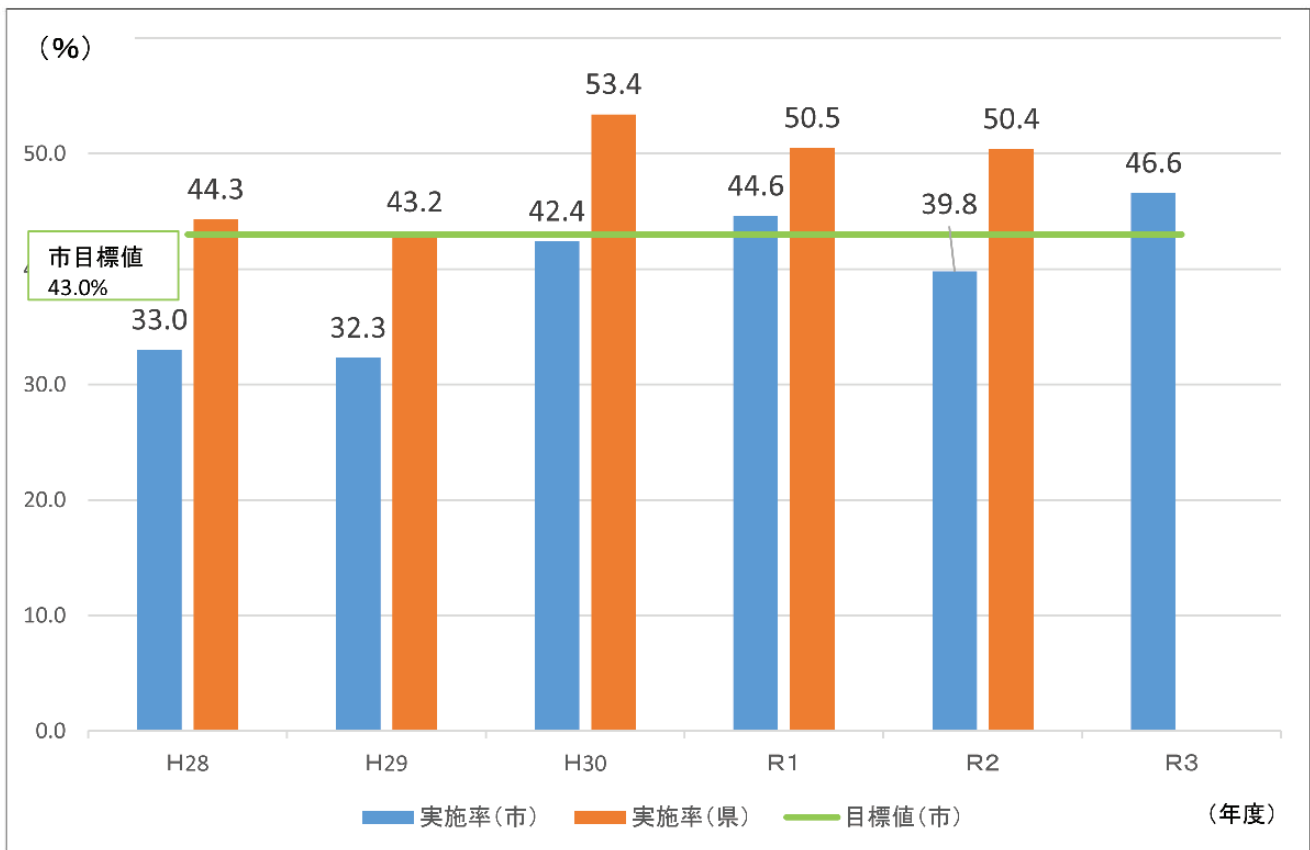


スポーツ施設の稼働率における対象施設は、伊勢フットボールヴィレッジ（人工芝グラウンド）、ダイムスタジアム伊勢、市営庭球場、小俣総合体育館、御園B&G海洋センター（体育館）、二見グラウンドの6施設であり稼働率76.0%前後となっている。

週1回以上スポーツ実施率

| 年度 | 毎日(人) | 週3回以上(人) | 週1回程度(人) | 総数(人) | 実施率(%) |
|-----|-------|----------|----------|-------|--------|
| H28 | 129 | 175 | 255 | 1,693 | 33.0 |
| H29 | 119 | 148 | 226 | 1,526 | 32.3 |
| H30 | 203 | 189 | 256 | 1,528 | 42.4 |
| R1 | 224 | 196 | 268 | 1,542 | 44.6 |
| R2 | 159 | 248 | 297 | 1,770 | 39.8 |
| R3 | 190 | 241 | 312 | 1,593 | 46.6 |

週1回以上スポーツ実施率推移



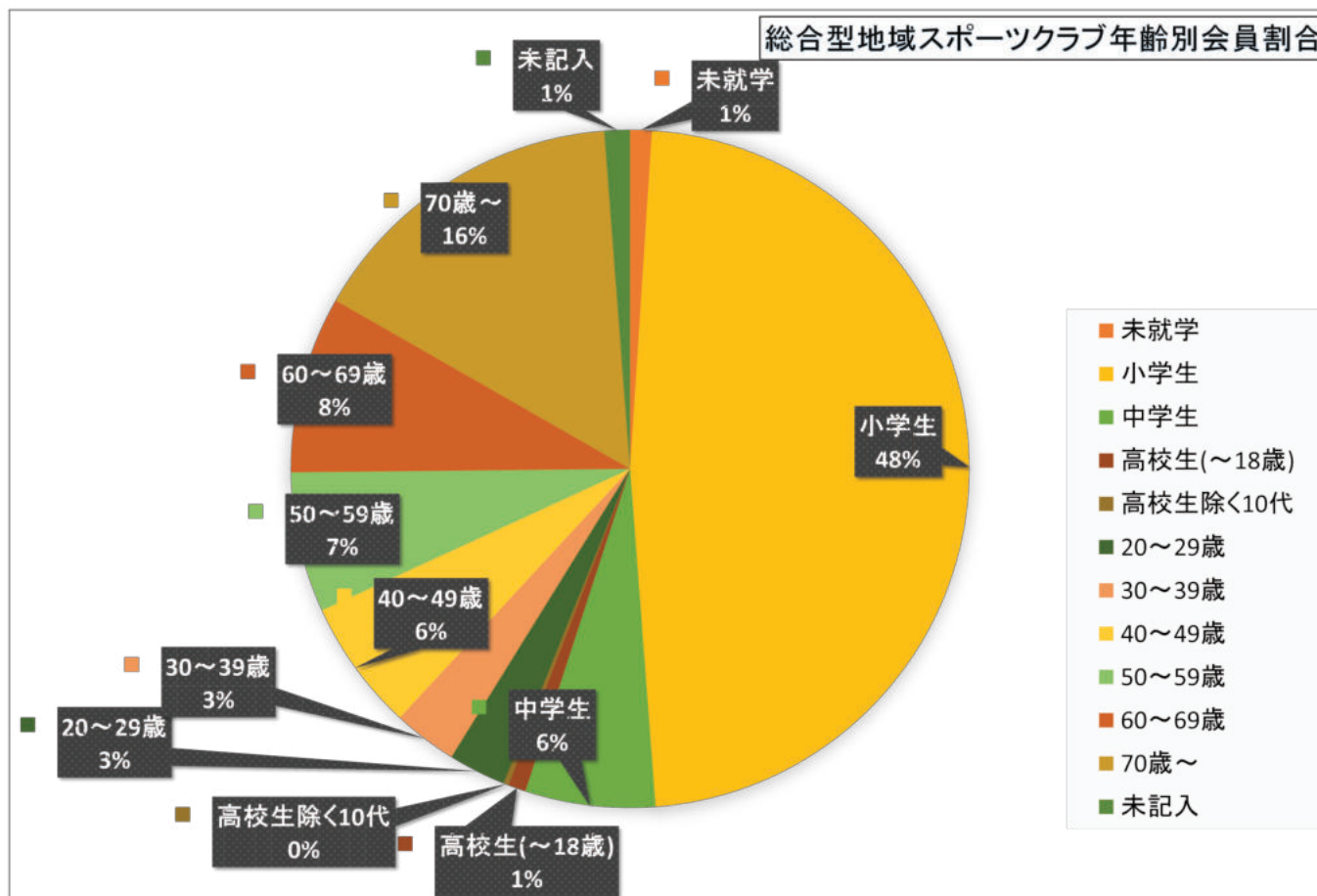
平成30年度アンケートから、ウォーキングもスポーツに含むとして調査を実施しており、本計画においても競技種目に限定することなく、身体を使ったすべての運動をスポーツとみなしている。

伊勢市総合型地域スポーツクラブ

| | |
|---|--|
| <p>いすゞウキウキクラブ </p> <p><設 立>平成 16 年 3 月 13 日 <概 要>スポーツ・レクリエーションを中心に地域住民が気軽に参加できることで、体力の維持・増進はもとより、子どもの人格形成やいじめ・非行防止、高齢者の仲間づくりや生きがいづくり等、地域コミュニティを強化し、健全なまちづくりに努めています。</p> | <p>厚生総合型スポーツクラブ </p> <p><設 立>平成 16 年 4 月 7 日 <概 要>スポーツや文化を愛好する地域住民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」参加できる、地域に密着したクラブを目指しています。</p> |
| <p>みそのスポレククラブ </p> <p><設 立>平成 16 年 4 月 18 日 <概 要>「誰もが、いつでも・どこでも・いつまでも」を合言葉に気軽にスポーツ活動に参加できる環境づくりを目指し、また、地域住民の健全な心身の保持増進と元気なコミュニティづくりに寄与しています。</p> | <p>北浜はつらつクラブ </p> <p><設 立>平成 16 年 5 月 16 日 <概 要>地域のスポーツ振興をはかり、地域住民の健全な心身の保持増進とコミュニティづくりに寄与することを目的としています。</p> |
| <p>きだっこクラブ</p> <p><設 立>平成 17 年 10 月 9 日 <概 要>地域における住民交流やスポーツ活動の振興と会員相互の親睦を図り、地域に根差した総合型地域スポーツクラブとしてスポーツ及び文化的な活動の場を提供しています。</p> | <p>おばたスポレククラブ ASREC </p> <p><設 立>平成 18 年 4 月 23 日 <概 要>ASREC(All-Sports-Recreation-Enjoy-Club)、子どもから高齢者の方まで、誰もがいろいろなスポーツやレクリエーションを、気軽に楽しむことができるクラブです。</p> |
| <p>ふたみふれ愛クラブ </p> <p><設 立>平成 24 年 2 月 26 日 <概 要>クラブ活動を通じてスポーツの普及・振興を図り、新たな地域社会形成の一助となることを目的としています。また、地域住民の誰もが参加することができる「教室」「大会・イベント」を企画・運営することにより「地域連帯感の高揚」「世代間交流」「学校と地域の連携」につなげていきます。</p> | <p>有緝わくわくクラブ </p> <p><設 立>平成 27 年 4 月 21 日 <概 要>多種目・多志向・多世代いつでも・誰でも・いつまでも参加できるみんなのスポーツレクリエーションクラブです。</p> |

総合型地域スポーツクラブ年齢別会員割合（令和3年度 三重県調査より）

| 区分 | 合計(人) | 割合 (%) |
|-----------|-------|--------|
| 未就学 | 33 | 1 |
| 小学生 | 1,534 | 48 |
| 中学生 | 199 | 6 |
| 高校生(～18歳) | 27 | 1 |
| 高校生除く10代 | 8 | 0 |
| 20～29歳 | 88 | 3 |
| 30～39歳 | 98 | 3 |
| 40～49歳 | 201 | 6 |
| 50～59歳 | 215 | 7 |
| 60～69歳 | 271 | 8 |
| 70歳～ | 498 | 16 |
| 未記入 | 39 | 1 |
| 計 | 3,211 | 100 |



令和元年度体力・運動能力調査（成年・高齢者対象）

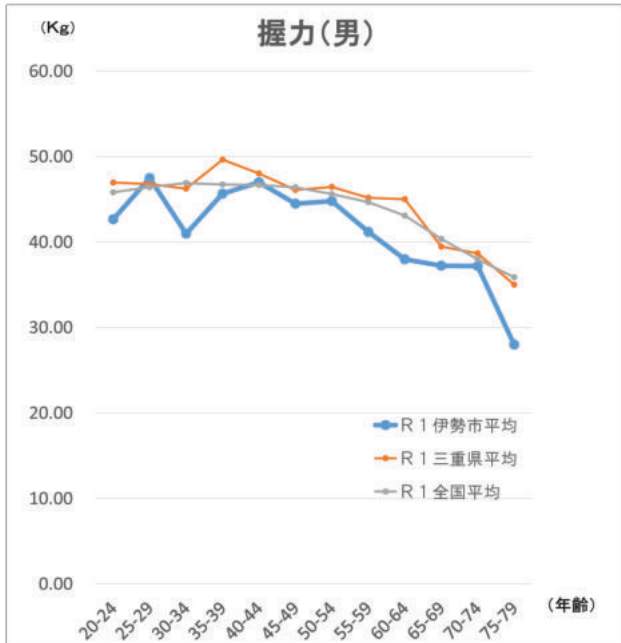
調査目的：国民の体力、運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。

調査対象：成年（20歳～64歳の男女）、高齢者（65歳～79歳の男女）

調査内容：新体力実施要項により実施 ※伊勢市の直近調査結果と比較するため、国、県の令和元年度調査を掲載。

握力

物を握るときに発揮される力で、上半身の筋力が主となります。

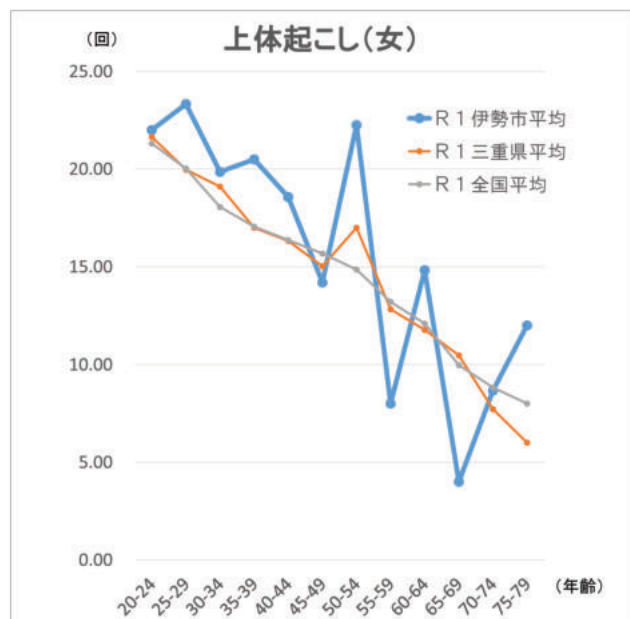


(男性) 全国、三重県平均に大きな差はありませんが、伊勢市は全体的に平均値より低い傾向にあります。

(女性) 全国、三重県平均に大きな差はありませんが、伊勢市は年代によって平均値より高低の差があります。

上体起こし

仰向けの姿勢から両肘と両大腿部がつくまで上体を起こすことを繰り返すことで筋力、筋持久力を測定します。

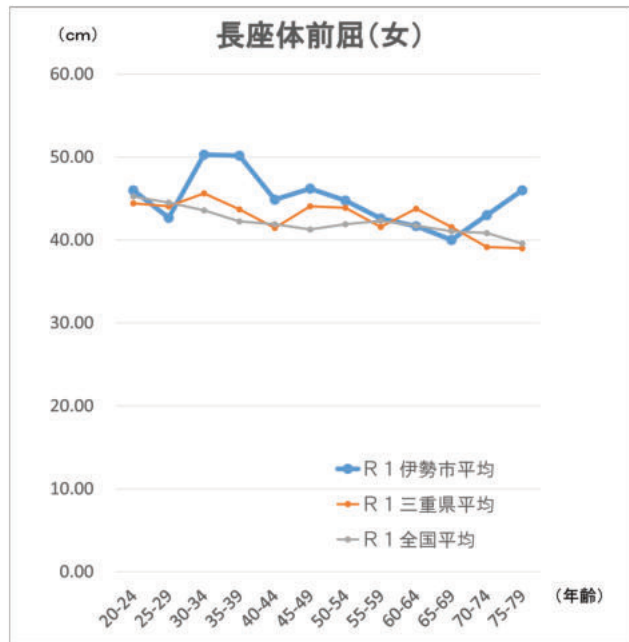
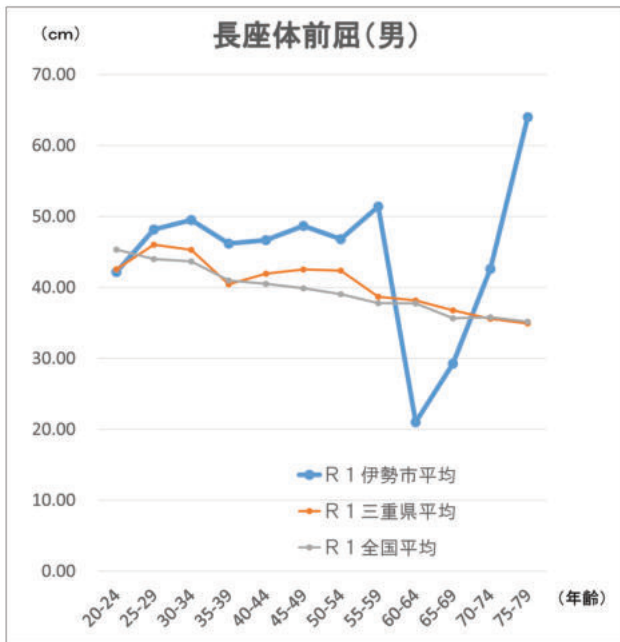


(男性) 一定の年代で、平均より高低がありますが、ほぼ全国、三重県平均となっています。

(女性) 男性の数値と同様に年齢ごとに筋力は衰えてきていますが、一定の年代で平均値を大きく上回っています。

長座体前屈

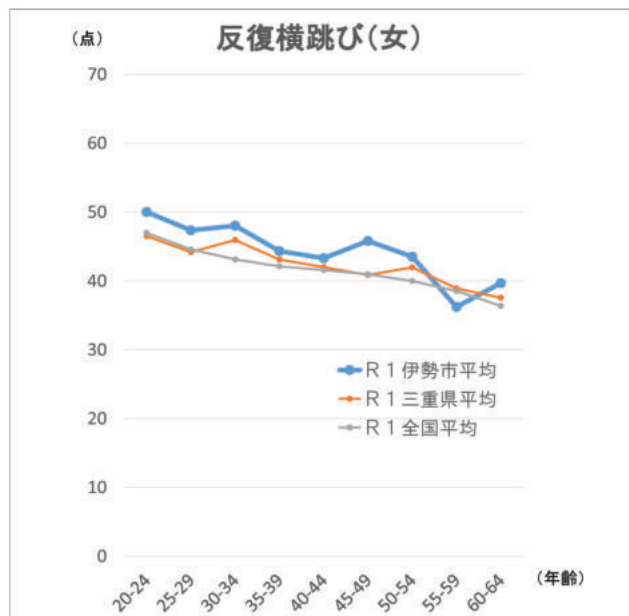
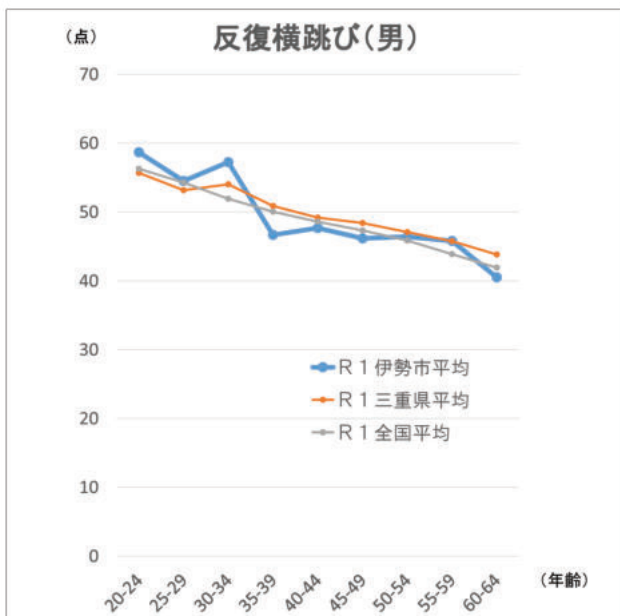
長座位から上半身を前屈することで、柔軟性を測定します。



(男性) 全国、三重県平均よりも少し高い数値となっていますが、60～69歳の年代で平均より低い数値となっています。
(女性) ほぼ全国、三重県平均となっています。

反復横跳び

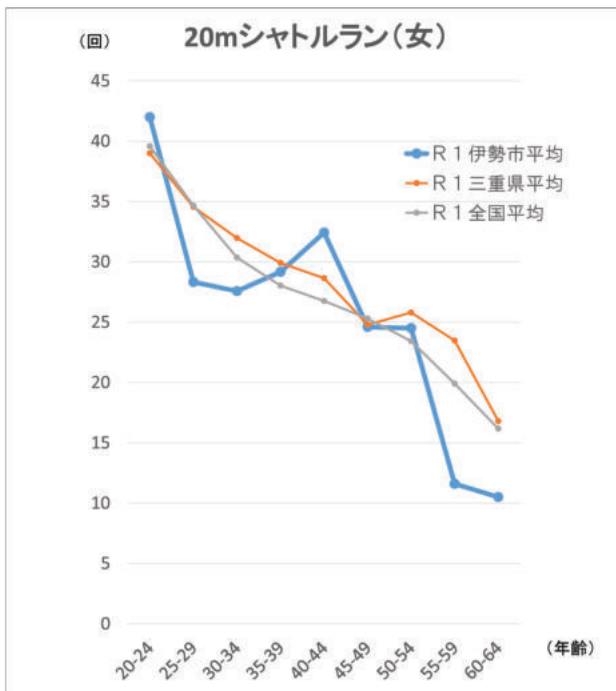
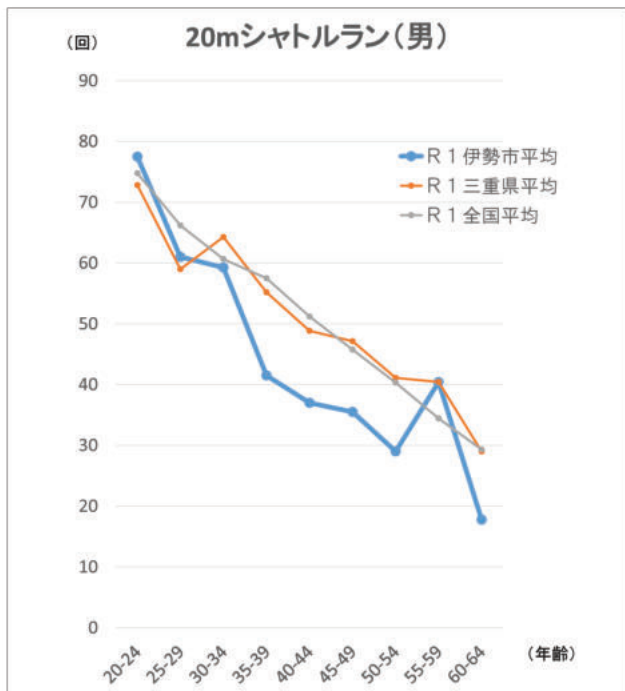
全身を使った側方への反復運動を行うことで、敏捷性を測定します。



(男性) ほぼ全国、三重県平均となっています。
(女性) ほぼ全国、三重県平均となっています。

20mシャトルラン

全身持久性を測定します。この能力が高いと一定の強度の運動や作業を疲労度が小さく、長く続けることができます。

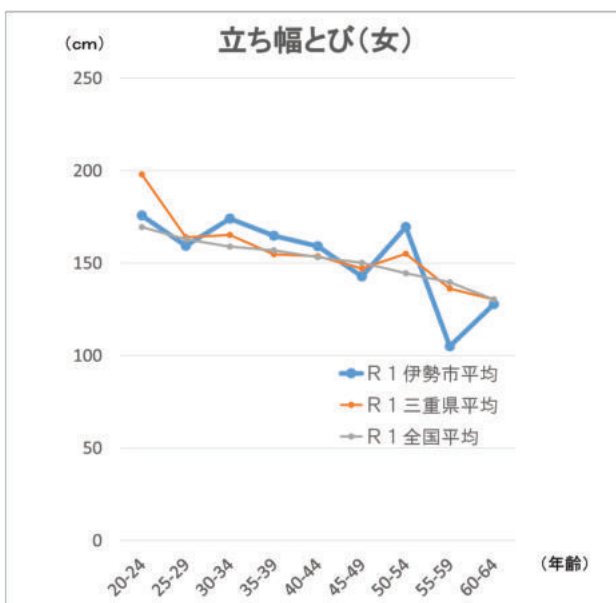
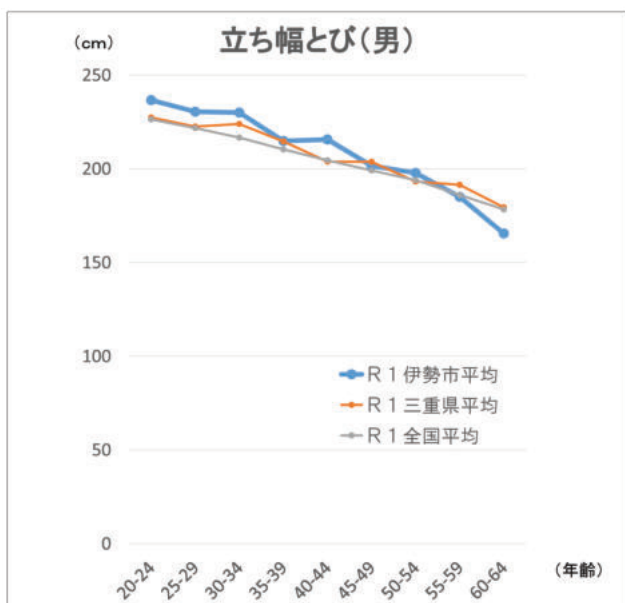


(男性) 全国、三重県平均よりも低い傾向にあります。

(女性) 一定の年代で、平均より高い数値となっていますが、全体的に全国、三重県平均よりも低い傾向にあります。

立ち幅とび

素早く動き出す瞬発力を測定します。



(男性) ほぼ全国、三重県平均となっています。

(女性) 一定の年代で、平均より高低がありますが、ほぼ全国、三重県平均となっています。

市営スポーツ施設一覧

| 施設名称 | 電話番号 | 施設名称 | 電話番号 |
|-----------------------------|----------|--------------------------|---------|
| 伊勢市市営庭球場 | 28-6386 | 伊勢市二見体育館 | 42-1117 |
| ダイムスタジアム伊勢 (伊勢市倉田山公園野球場) | 22-4323 | 伊勢市二見グラウンド | 42-1117 |
| 伊勢フットボールヴィレッジ | 63-8898 | 伊勢市二見グラウンド ミーティングセンター | 42-1117 |
| 伊勢市朝熊山麓公園 ソフトボール場 | 63-8898 | 伊勢市二見テニスコート | 42-1117 |
| 伊勢市朝熊山麓公園 グラウンドゴルフ場 | 63-8898 | 伊勢市小俣児童体育館 | 37-2246 |
| 伊勢市市民武道館 | ※22-7891 | 伊勢市小俣総合体育館 | 27-5491 |
| 伊勢市宮川スポーツグラウンド | ※22-7891 | 伊勢市大仏山公園 スポーツセンター | 27-5491 |
| 伊勢市御園B & G海洋センター | 36-4511 | 伊勢市北浜スポーツグラウンド | 37-2938 |
| 伊勢市やすらぎ公園プール | ※22-7891 | (※) スポーツ課直通の電話番号 | |



伊勢フットボールヴィレッジ



伊勢市市営庭球場



ダイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）

第3期伊勢市スポーツ推進計画策定経過

| 日 | 会 議 | 内 容 |
|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 令和3年6月22日 | 第1回審議会 | 計画方針の決定 |
| 令和3年7月30日 | 第2回審議会 | 計画素案審議 |
| 令和3年8月17日～31日 | 第3回審議会（書面審議） | 計画修正案審議 |
| 令和3年10月1日 | 第4回審議会 | 計画修正案審議 |
| 令和3年12月24日～ 令和4年1月24日 | パブリックコメント実施 | |
| 令和4年1月27日～ 2月1日 | 第5回審議会（書面審議） | パブリックコメント結果報告・計画最終案審議 |
| 令和4年3月14日 | 教育民生委員協議会に報告 ・パブリックコメントの結果について | |
| 令和4年3月22日 | 教育委員会で承認 ・計画の最終案について | |

令和3年度 伊勢市スポーツ推進審議会委員名簿

| 役職 | 所属 | 氏名 |
|-----|--------------------|--------|
| 会 長 | 学識経験者 | 叶 俊文 |
| 副会長 | 伊勢市スポーツ協会代表 | 龍田 洋 |
| 委 員 | 伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会代表 | 北村 峯記 |
| 委 員 | 伊勢市スポーツ少年団代表 | 中西 武寿 |
| 委 員 | 伊勢市レクリエーション協会代表 | 奥田 守 |
| 委 員 | 伊勢市小学校体育部会代表 | 泉 恵子 |
| 委 員 | 伊勢市中学校体育連盟代表 | 中辻 浩行 |
| 委 員 | 伊勢市P T A 連合会代表 | 谷水 楠仁 |
| 委 員 | 総合型地域スポーツクラブ代表 | 橋本 さち子 |
| 委 員 | 健康づくり・スポーツ女性指導者 | 平沼 美智子 |
| 委 員 | 健康づくり・スポーツ女性指導者 | 立花 和子 |
| 委 員 | 学識経験者 | 豊島 久雄 |

(敬称略)



伊勢市教育委員会事務局スポーツ課は、スポーツ庁の取組である「Sport in Life プロジェクト」に賛同し、子どもから高齢者までだれもが自分自身のスタイルでスポーツを楽しめるまちを目指します。

第3期伊勢市スポーツ推進計画

令和4年3月

伊勢市教育委員会事務局 スポーツ課

〒519-0592 伊勢市小俣町元町 540 番地

TEL 0596-22-7891・FAX 0596-23-8641

E-mail kyo-sports@city.ise.mie.jp



伊勢市ホームページ